

9月の果実の見通し

平成30年8月27日現在
山形県東京事務所

| 区分 品目 | 主産地 | 入荷量(t) | | | 単価(円/kg) | | | 山形県産前年実績 | | 販売見通し |
|-----------|----------------------|--------|------------------|-----------|----------|-----------|-----------|------------------|------------------|---|
| | | 前年実績 | 前年比 見込 (%) | 5カ年 平均 | 前年実績 | 前年比 見込 | 5カ年 平均 | 前年 入荷量 (t) | 前年 占有率 (%) | |
| 日本なし 類 | 栃木 茨城 千葉 など | 11,125 | 98% | 10,338 | 260 | やや安 | 262 | 21 | 0.2% | 前年と比べて出回り時期は5日ほど早く、8月いっぱい「幸水」の販売はほぼ終了となる。8月下旬には千葉産「豊水」の出荷が始まっており、9月に入れば「あきづき」も含めて入荷ピークとなる。価格がこなれてきていることから荷動きは悪くなく、9月半ば頃までは順調な販売。中旬以降はぶどう類や柿類など秋果実の出回りが本格化してくることで徐々に動きは鈍化してくるものの、残暑との予報からまずまずの引き合いはある見込み。 |
| もも類 | 福島 山形 など | 1,794 | 50% | 1,553 | 429 | やや高 | 422 | 510 | 28.4% | 全体の出荷ピークは8月下旬までに終わっていて特に山梨産・福島産においては9月販売を行っていた品種が8月に販売されているため9月出荷は少ない。また、各産地主力となる品種(晩性種)がなく、多くの品種は短期間のため切替わりが早くダラダラとした出荷が敬老の日の連休まで続く。秋分の日の連休の頃には入荷はより少なくなるが、産地・数量を問わなければ9月末まで取り扱うことが出来る見込み。 |
| りんご類 | 青森 長野 など | 5,885 | 98% | 6,166 | 260 | やや高 | 259 | 838 | 14.2% | 29年産の貯蔵ふじは非常に少なく、8月の出回り量は前年の半分以下であった。30年産りんごは全般に開花が早く、生育も前倒し気味。8月中旬より長野・山形産の「つがる」の入荷が始まっており、9月になれば青森産もスタート。前年は長野産などが遅れて9月に出荷がずれ込んだが、今年は順調に出荷されており、スムーズな産地リレーが出来そう。下旬には各県の中生種も出荷開始となり、品種バラエティー豊かになるとともに荷動きも活発化する見込み。 |
| ぶどう類 | 長野 山梨 岡山 など | 4,801 | 100% | 4,831 | 980 | 並 | 812 | 480 | 10.0% | 山梨産の露地物ピオーネ・シャインマスカットの生育が順調で、8月は、5～10日早く販売となり、9月の販売量は少ない。特にシャインマスカットは全体数量が増えているにも関わらず9月としては少なく感じると思われる。長野産・岡山産のぶどう類の出荷は例年に比べ月上旬の出荷量は多く、小房傾向の出荷で進むが出荷量はそれなりにある。下旬に入ると出荷量は減少に入り、特に山形産デラウェアは終盤から終了となる。 |

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)